

2023年、6月、4日

イエスを見る：ルカによる福音書

ここ数週間、私たちはイエスの生涯、宣教、そして人間についての目撃証言を一緒に研究してきました。ルカの物語から私たちは、福音があなたに適用されるのは、あなたの経歴、これまでの選択、人種、民族、年齢、性別、仕事、婚姻状況、能力などは関係ないということを学びました。あなたが人生のどこにいても、天国はここにあるというメッセージです。そしてそれを自分自身で体験するという信じられないほどの招待状です。これらの物語のどれでも、目撃者には謙虚なまでに悔い改める機会と、犠牲のイエスの前にひざまずく機会が与えられました。今日、私たちはルカのシリーズを終えることとなりますが、この最後の物語は文字通り私たちを十字架に連れて行きます。ルカ 23 章をご覧ください。なりたい場合は、32 節から始めます。

ルカはイエスの死を、終わりではなく宣教の継続として描写するために、あらゆる努力を払っています。ルカは悔い改めに気を配っており、そのような瞬間であっても、イエスの配慮と気遣いが人類の心に対するものであることを私たちに理解してほしいと願っています。彼の福音書は、4 つの福音書の中で最も美しく詩的かもしれません。

第 1 週では、ポーは聖書が真実であることを知るためのさまざまな方法について教えてくれました。それらの方法の 1 つは、テキストを比較して、ストーリーが一致しているかどうかを確認することです。しかし、福音書を並べて見ると、この物語について若干異なる説明がなされています。マタイとマルコは、「イエスと共に十字架につけられた人々も、(群衆と)同じようにイエスをののしった」と記録しています。ヨハネの福音書には犯罪者の反応については何も書かれていません。ルカの福音書は私たちに対話を与え、イエスの隣で十字架に架けられている人々の性格を与えます。

したがって、このユニークな物語を読むとき、私たちはルークが他の人が気づかなかった相互作用を捉えたと信じなければなりません。ルカは、イエスの美しいところ、つまり最期と思われる瞬間に至るまでのイエスの心の心配や懸念を理解しました。

イエスについてもっと知るのにこの物語は必要ありませんでした。私たちはイエスが慈悲と恵みと正義をもって行動するのを何度も見てきました。

その代わりに私たちに与えられているのは、最高のときのイエスも、休んだときのイエスも同じであると知る希望です。

ルカによる福音書 23:32-34 口語訳

“さて、イエスと共に刑を受けるために、ほかにふたりの犯罪人も引かれていった。されこうべと呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人たちも、ひとり右に、ひとり左に、十字架につけた。そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。人々はイエスの着物をくじ引きで分け合った。”

“民衆は立って見ていた。役人たちもあざ笑って言った、「彼は他人を救った。もし彼が神のキリスト、選ばれた者であるなら、自分自身を救うがよい」。”

ルカによる福音書 23:35 口語訳

“兵卒どももイエスをののしり、近寄ってきて酔いぶどう酒をさし出して言った、「あなたがユダヤ人の王なら、自分を救いなさい。」”

ルカによる福音書 23:36-37 口語訳

“イエスの上には、「これはユダヤ人の王」と書いた札がかけてあった。”

ルカによる福音書 23:38 口語訳

“十字架にかけられた犯罪人のひとりが、「あなたはキリストではないか。それなら、自分を救い、またわれわれも救ってみよ」と、イエスに悪口を言いつづけた。”

ルカによる福音書 23:39 口語訳

“もうひとり、それをたしなめて言った、「おまえは同じ刑を受けていながら、神を恐れないのか。お互は自分のやった事のむくいを受けているのだから、こうなったのは当然だ。しかし、このかたは何も悪いことをしたのではない。」”

ルカによる福音書 23:40-41 口語訳

“そして言った、「イエスよ、あなたが御国の権威をもっておいでになる時には、わたしを思い出してください」。イエスは言われた、「よく言うておくれ、あなたはきょう、わたしと一緒にパラダイスにいらおう。」”

ルカによる福音書 23:42-43 口語訳

あなたも私と同じなら、この話を聞いて、その正当性を考えるかもしれません。「そうだ、彼らはそこにいたはずだ」

しかし、彼らはどうやってそこにたどり着いたのでしょうか？これまでに、人々が十字架につけられ、被告人と並んで刑を宣告されるのを何度見たことか。

今回は観客ではなく、彼らは舞台の中心です。彼らの十字架の上で。

彼らはこれを予想できたと思いますか？

ローマの支配に抵抗した罪で有罪判決を受けた人々を待ち受ける運命を、一般の人々に印象的に示すために、ローマ人は犠牲者を可能な限り長く十字架上で生きたままにしておきました。最も混雑した道路が選ばれ、ほとんどの人が見て恐怖を感じる事ができました。

ローマ人の視点から見ると、十字架の恐怖は社会的恥辱の恐怖でした。公開処刑され、人通りの多いルート沿いに置かれ、衣服も脱がれ、埋葬も拒否され、鳥や獣に食べられるまま放置された十字架刑の犠牲者は、悪質な嘲笑の対象となった。

彼らはこれが起こるのを以前にも見ていた。おそらく幼い頃からのことでしょう。今、彼らはここにいることに気づきました。

最初の男がイエスに挑戦するとき、それは私には絶望のように聞こえます。

「あなたはメシアではないのですか？あなた自身と私たちを救ってください！」

彼の隣の二人が言及されたのには特別な理由があります。そして、それは必ずしも「あなたには2つの選択肢があります。イエスを受け入れない人になるか、イエスを受け入れて天国に行く人になることを選ぶことができます。」というような単純なものではありません。ここで起こっていることはそうではありません。イエスはすでにほんの数節前に彼らを赦されました。実際、イエスはルカの中でのみ、自分をそこに置いた責任のある人々の許しを神に求めています。美しい。

重要なのは、私たちがその両方として物語の中にいることに気づくことだと思います。私たちはどちらでもない。どちらの性格も、絶望的な闘いで勝利を得るために戦っている私たちの中に存在します。福音は和解するものであり、誰が参加し誰が参加しないのかを判断するための、意見を対立させるツールとして使用されるべきではありません。イエス様はそんなこともしません。代わりに、イエスは犠牲を捧げます。

彼らを許すことは究極の犠牲です。

それについては後で詳しく説明します。

テキストの比較に加えて、ルカの福音書の物語が書かれた時期から真実であることもわかります。ルークは実際の目撃者を集めて話を聞かせました。そして、彼の仕事が終わったとき、彼らは生きていました。これは、彼らがストーリーを修正することができた可能性があることを意味します。

ルカについての私たちの研究は目撃者の証言を調べてきたので、この聖句を研究し始めたときに私が最初に尋ねたのは、「誰の目撃者の証言を見ているのか？」ということでした。私はすぐに気づきました - 私たちの目撃者ですか？彼らは死んだ。ルークじゃ集められなかったはずだ！

ルークが目撃者だと思い込んだのは間違いでした。しかし、ルカは十字架の下にいませんでした。それで？誰だった？

ヨハネ 19:25 には、「イエスの十字架の近くに母親が立っていた...」と記されています。

私たちはメアリーが確かにそうであったことを知っています。イエスの母であり王の忠実な弟子であるマリアが十字架のふもとにいました。

私は一時停止しました。

今、私自身の息子がいますので、私は自分の子供に対する献身と執着を理解しています。私もそこにいたろう。

ハンクが寝ているとき、アレックスと私は携帯電話を取り出して、ハンクの写真やビデオをスクロールします。「これは」「これはすごい」と前後比較してしまいます。それから私たちは笑いました、なぜなら彼は文字通り上の階にいるからです。そこで私たちはモニターを見て、彼が動いたり、蹴ったり、いびきをかいたり、小さな体を調整して快適にしているのを観察します。私たちのモニターにはズーム

ボタンがあるので、私は彼の胸を最大限に拡大し、彼がまだ呼吸していることを確認するために、彼のお腹が上下するのを数回観察しました。

この瞬間、十字架のふもとでマリアが息子を見つめ、その尊い体がぶら下がっているのを私は想像することしかできません。彼の胸とお腹に焦点を当てて、彼の呼吸の上昇と下降を観察します。不思議に思っています - 彼はまだ息をしていますか？

マリアは十字架のふもとに座って、人と器が死ぬ奇跡を見つめていました。彼女は十字架のふもとに座って、主の休息にある世界にとっての唯一の希望を見つめています。そして彼女は彼の側を離れません。彼は主が彼女に与えた最も貴重なものです。主は彼女を守り、育て、慰めるためにイエスを与えられました。これは彼の追隨者にとって悲しい瞬間です。これはメアリーにとって壊滅的な瞬間です。

彼女はこの瞬間にここにいることを選びました。彼女はイエスに従って群衆の中を進み、丘を登り、十字架まで従うことを選びました。きっと彼女は、夜に会った主の天使が神の子を産むと告げたことを思い出し、神の御子の上にある「ユダヤ人の王」と書かれた銘板を見たに違いありません。彼女はおそらく、彼が女性や足の不自由な人たちを癒し、出産したときのことを思い出しているでしょう。彼女はラザロが死に、イエスが友人のために泣いていることを考えています。そして彼女は、イエスがラザロを墓から呼び出されたことを覚えています。

彼女は次に何が起こるのか、そして今度は人生がどのように勝利するのかを考えています。

ローマ人の目には、彼の死は彼が皇帝に反対したことが原因でした。彼は人々を扇動し、国家を倒錯させました。それだけでした。しかし、それがすべてではないことも私たちは知っています。私たちは今、彼らがまだ経験していなかったこと、つまりイエスが死からよみがえるということを知りました。

復活があるためには死がなければなりません。時には良いものが死んでしまうこともあります。彼の死は、「すべてのものは死ぬ」ということを知って慰めるためではなく、すべてのものは必ず死ななければならないことを私たちに示すためです。死は物語、つまり私たちの物語の一部でなければなりません。それらのことがさらに良くなって戻ってくることもあります、それ自体が新しく素晴らしいものに導かれることもあります。

次に何が起こるかは常にわかりません。しかし、次に焦点を当てるべきは必ずしもそこではありません。

私たちも十字架上で自分自身を見つけることに焦点を当てたらどうでしょうか。

ルークは物語を集めるときにメアリーのところに行き、「あなたの話を聞かせてください。」と尋ねたのではないかと思います。あなたはイエスの何を見て、それがイエスが誰であるかというあなたの理解をどのように形作ったのでしょうか。」

どんなに多くの言葉で彼女が認めたとしても、イエスは天国が近いと説教し、その方法を示してくださいました。彼女は、侮辱、痛み、不信仰を貫くイエスの愛について語ります。彼女は、二者のうち正しい選択をすることに重点を置いた恐怖に駆られた福音について証していません。

彼女はイエスが絶望の時代に平和と希望を与えてくださると証言した。彼は腕を大きく広げて美しく優雅にぶら下がっていたこと。

天の御国は今も私たちとともにここにいます。私たちの周りのすべて。希望があるという良い知らせです。あなたが十字架の上にも、その足元にも。あなたの人生の状況があなたを絶望の場所に導き、行き詰まりを感じ、犯罪者のように自暴自棄になっているかどうか。あるいはマリアのように、人生がどうやって勝利を収めるのか疑問に思ったり、希望を持ち続けたり、自分が大切に保管してきたものを持ちながらも、それを神の手に委ねる必要があることを知っている。

彼らがイエスを見たように、あなたにもイエスを見てほしいと思います。彼らがそうしたように、主を体験してください。

私たちは、男性たちがどのようにしてイエスの隣で十字架にかかるようになったのか疑問に思いました。何が彼らをそこに置いたのでしょうか？私たちはそこにいることを選んだメアリーを見てきました。彼らは皆、この瞬間に全力を尽くしました。

私たちが自分自身を十字架に連れて行くとき、私たちは自分自身のすべて、つまり希望と夢、傷心、そして自分が至らない点をすべて持ち込むこととなります。すべてを神の前に置き、こう言います。私のすべて。それをすべて取る。イエスのもとに身を委ねることで、私たちは彼の許し、彼の命、彼の最善を受け取ります。天国は私たちの中にあり、私たちを通してあります。

十字架に来ますか？今日持っているものをすべて持ってきて、置いてみませんか？そうすれば、あなたは人生と人生を完全に受け取ることができることがわかります。

私たちの礼拝チームが戻ってきて、今日は長時間対応する予定です。この間にできることがいくつかあります。

- 1- オレンジ色のストラップを持った長老たちが部屋の周りにいて、あなたと一緒に祈る準備ができています。
- 2- 礼拝所には 2 つのオプションがあります。
- 3- その場に留まり、隣にいる誰かと一緒に礼拝/祈りをしましょう。

祈りをご希望の場合は、いくつかのオプションがあります。

- 悔い改めの祈り

- 聖霊のバプテスマの祈り

- 何か他のことへの祈り

-オンラインの場合は、メールでご連絡いただくか、誰かとつながる時間を設定してください。

数分後に戻ってきて時間を終了します。ぜひご利用ください。この瞬間を無駄にしないでください。

私たちの願いは、あなたが今日、信仰の旅に大胆な一歩を踏み出すことです。

閉じる: あなたが挑戦者、懐疑論者、無力、希望のない、または希望に満ちているなら、あなたは物語に当てはまります。すべてが間違っていた場合、またはすべてがうまくいっている場合。あなたは物語にぴったりです。

祝禱:

-私たちが十字架上で自分自身を発見し、降伏する人でありますように。

—私たちが、自分の周りにある天の御国を見て目を大きく開いて生き、それを生きる人でありますように。